



# JRE 関東 ひびき

JRE 関東地協 機関紙  
発行責任者 秋山順一  
編集責任者 佐藤定司  
港区東新橋 2-8-28

自らを変える!! 明日を創る!! **イースト イノベーション**

## 前へ!!19 春闘に勝利し

# 組織を強化拡大しよう!!

## —第5回中央委員会開催—

### 【私たちの要求】

#### 1. 賃金引き上げについて

- (1) 定期昇給を実施すること。
  - (2) 2019年4月1日の定期昇給後の基準内賃金を、一人平均3,000円引き上げること。
  - (3) エルダー社員及び契約社員についても、社員に準じて賃金を引き上げること。
2. グループ会社に対する契約単価を見直し、グループ会社社員の賃金引き上げに寄与すること。
3. 上記申入れに対する回答期限を、平成31年3月15日までにすること。



2月12日、本部は第5回中央委員会を港区港勤労福祉会館に中央委員、傍聴、ご来賓等50名の仲間を集め開催されました。中央委員会の冒頭、中央執行委員会を代表し菅野中央執行委員長から「私たち自身が強く大きくならなければ仲間の労働条件向上もないし会社の安定的な発展はありえない」と私たちの課題について強調した。また、ご来賓としてお越し戴いた川合参議院議員は「会社の発展のためには経営の論理だけではだめだ。会社の施策を職場の隅々にまで届け、職場、現場の事を良く知っている社員(組合員)の声を経営に伝える事のできる労働組合の存在が必要になる。会社をより素晴らしいものにするためにイーストユニオンがさらに強く大きくなるために奮闘を期待する」と力



強く挨拶された。議論では関東地協選出の3人の中央委員すべてが発言し中央委員会に提出された方針を補強しました。中央委員の発言では①安全問題では一層の注意喚起が必要である。②技術継承の問題ではマニュアル至上主義からの脱却が必要だ。③「変革2027」を会社とともに創り上げられるのは私たち以外にはない。自信と確信を持って取り組んでいきたい。④会社は新たなる30年にむけてスタートを切った。私たちとしてこれまでの30年を検証し今後の30年に向け建設的に議論を創り出していきたい。④組織拡大に向け種を不断に撒き続けていこう。総括答弁にたった国井事務局

局長からは①この5年間の奮闘に感謝する。②運動については時間軸を明確にし目標を明確にした運動を展開しよう。③会社はピンチにある。会社を救うための行動を起こそう。と一層の奮起を促した。



## さらに前へ! 自らの行動の後にしか道はできない!!